

秋田市教育委員会  
会 議 録

平成29年12月定例会

秋田市教育委員会平成29年12月定例会会議録

- 1 日 時 平成29年12月21日(木)  
午後3時30分～午後4時30分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長  
教育委員  
教育委員  
教育委員  
教育委員
- 4 出席職員 教育次長  
教育次長  
総務課長  
学事課長  
教職員室長  
生涯学習室長  
教育研究所長  
総務課長補佐  
総務課副参事  
生涯学習室長補佐  
総務課主席主査  
総務課主席主査  
教職員室主席主査  
教職員室主席主査  
総務課主査  
総務課主査  
総務課主査  
教職員室主査  
生涯学習室主査

## 5 議 題

### 【協議事項】

- (1) 平成29年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について

### 【教育長等の報告】

- (1) 平成29年11月市議会定例会の審議状況
- (2) 平成29年度「新成人のつどい」の警備について

## 6 議 事 午後3時30分開会

### 【平成29年11月定例会会議録の承認】

平成29年11月定例会会議録について、異議がないため承認された。

### 【会議録署名委員の指名】

教育長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

### 【協議事項】

- (1) 平成29年度秋田市教育委員会学校訪問の総括について

教育長 事務局から説明をお願いします。

教職員室長 (資料に基づき説明)

本年度は小学校19校、中学校11校、勝平小中千秋分校、秋田商業高等学校、秋田公立美術大学附属高等学院の計34校および自然科学学習館を訪問した。

「学校経営の重点」については、ほとんどの学校が学力向上に関わる「確かな学力、学習習慣、基礎基本の定着」を挙げており、「望ましい人間関係構築、学級づくり」や「生徒指導の充実、規範意識の醸成」を挙げる学校も増えている。学校生活の基盤となるより良い人間関係の構築に努めていることがうかがえた。今年度の特徴は、地域の施設やふるさと先生の授業への積極的活用、地域住民と一緒に

の学校行事や避難訓練など「地域・家庭との連携、開かれた学校づくり」を重視している学校が増えていることである。

「懇談における話題」については、「学習指導に関すること」が最も多く、「いじめ・不登校、教育相談」や「食物アレルギー対応、食育推進」についても昨年と同様に多かった。また、今年度から給食の公会計化が実施されたことに伴う運営上の成果や課題が話題となったほか、学習指導要領改訂に伴う道徳の教科化や小学校英語の教科化、教員の多忙化、働き方改革なども話題となった。

委員

今年の学校訪問では、子どもたちの学習活動が非常に充実しており、先生たちの授業作りに対する頑張りが感じられ、非常にうれしく感じた。校長先生から説明を聞いた後、教室での学習活動を見せてもらったが、授業の充実をひしひしと感じる事が多かった。こういった学校を増やし、全体的な底上げをしていくことが今後の課題だろう。

校内では、子どもたちの作品が要所要所に見られ、子どもたちが頑張って作った個性豊かな作品をたくさん見られた。また、ほとんどの学校で「地域の中にある学校」、「地域の人たちの中にいる子どもたち」としての地域とのつながりを例年以上に感じる事が出来た。

校長先生から学校経営の重点を聞いた後に子どもたちの実際の授業の状況や校内の様子を見る。そして、先生たちと懇談といった流れは良かったと思う。日程については火曜日が多かったので分散させてほしい。

委員

各校の実情や子どもたちの様子を感じ、具体的課題が見えてくる学校訪問の大切さを感じている。金足西小学校では訪問中、学校の敷地に熊が出没し、先生たちの組織だった危機管理体制を直接目にすることが出来た。一昨年から午前中だけの学校訪問でも給食を食べられるようになったが、その際に校長先生から学校の実情などを聞くことが出

来るため、今後も続けてほしい。日程については、いろいろな季節の学校を訪問したいので出来るだけ均等に分散した方が良さだろう。来年の訪問先としては「太平山自然学習センターまんたらめ」や、「すくうる・みらい」を見学して非常に感銘を受けたので同じ様な施設である「スペース・イオ」も候補として考えてほしい。

委員

私はいずれの学校も訪問が2回目もしくは3回目であり学校経営者である校長先生が変わると学校の雰囲気も変わると感じた。ここ数年、子どもの授業に向かっている姿勢は、非常に落ち着いたものであり、しっかりしている。それは先生たちがチームを組み、丁寧に一人一人の個性を伸ばすように努力している結果であると感じている。いくつかの学校では若い先生たちの頑張りを感じた。若い先生たちの頑張りには、それを支えるベテランの先生たちの力がある。子どもたちも年齢が近い若い先生たちの授業には新鮮な気持ちで臨むかもしれない。生まれたときからITに親しんでいる先生がこれからどんどん増えていくだろう、それを象徴するような授業も見ることが出来た。給食の時間はリラックスした校長先生から様々な話を聞くことが出来た。先ほど訪問してみたい場所として「まんたらめ」の話が出たが、訪問するのであれば子どもたちが活動している姿を見せてほしい。

委員

自分の子どもが卒業してしまうと学校から足が遠のいてしまう。今回、教育委員の視点から学校を見せてもらい、学校のことをよく知ることが出来た。保護者と教育委員では視点が違う。学校訪問では、学校経営から雨漏りまで見せてもらった。学校は市や行政がきちんと教育を提供する場であり、子どもたちを中心にして地域の人たちが集う場であることを再認識した。どこの学校でも子どもたちの挨拶が気持ちよく、学校では普段の生活と同じように挨拶が出来ていた。挨拶は人間としての基本であり普段から挨拶

の大切さをきちんと教えていると感じた。

全体的に見ると先生たちのベテラン化が進んでおり、若い先生たちに出会う機会は少なかったが、ベテランの先生たちは子どもたち一人一人をきっちり見ておりそれを若い先生たちに伝えていた。給食は中学校を卒業して以来ほとんど食べたことがなかったので感激した。保護者がお弁当を作る負担を軽減するだけでなく、食事は教育の一環であり食育という言葉もある。異物混入は秋田市でも時々あるが全般的には素晴らしい施設で作られ、事故の無いように日々努力していることが分かった。「まんたらめ」は宿泊研修の際にどんな活動しているのか拝見したい。また、市内の文化施設等にも興味がある。

教育長

皆さんの意見はもっともだと思う。学校訪問では、学校が授業作りに力を入れていることをとても感じる事が出来た。学校の規模によっては授業を見学する時間が短い場合もあるが、教室で教師と子どもの関係や子どもの学習に取り組む姿を見ると今までの積み重ねがあるかどうか分かる。そして、積み重ねの感じられる子どもが多く見られたことは大変うれしく思われた。

教員の年齢についてだが、毎年先生たちの年齢が上がってきていると感じているが若い先生たちは少しずつ増えている。来年度はさらに増えると思われ、時代が変わっていく節目にあると思われる。教育技術の伝承については、学校の中だけでなく教職員研修でもしっかりやってほしい。地域とのつながりは、どこの学校でも大切にしている。学校は地域に支えられている、地域と学校の関係もこの先もう一步踏み込んだ形になれば良いと考えている。子どもたちが「まんたらめ」で活動しているところを訪問することは難しくないのではないだろうか。

教職員室長

「まんたらめ」は年間をとおして活動しているので、子どもたちが活動している際に訪問することは難しくない。

「まんたらめ」だけでなく他の施設の案も含めて今後、検討したい。

委員 　同じ学校に大学を卒業したばかりの新採の先生と講師の先生がいる。新採の先生は初任者研修等で優秀な先生に手取り足取り丁寧な育てられる。一方、講師の先生にはそういう機会が与えられない。この話を聞いた際、非常に切なく感じた。この問題はなんとかならないのだろうか。

教育研究所長 　講師の先生の研修については、前よりは回数を増やしており今年度は3回実施している。初任者研修と比べるとまだ少ない状況であるが。本市には講師の先生たちが多くおり、可能な限り充実していくことを考えていかななくてはならないと考えている。

教育長 　学校によっては、校長先生の裁量で若者研修会の様な研修も行っている。初任者研修は法定研修なので新採の先生に受けてもらう必要がある研修である。全く同じ研修をすることは出来ないが、校長先生の裁量で一部の研修を講師の先生に受けてもらっている学校もある。

教育次長 　校長の立場から言うと、新採用の先生は国や県、市の研修が手厚いが、講師については学校が研修の場となって育てるしかない。学校には、教えることが上手な先生もおり、教科や学校経営について親身に指導している。子どもにとってはどちらも先生であり、一方がめきめきと力を付け、一方が停滞しては組織として困ったことになる。この問題は、校長会ではよく話題になっており、学校の中では講師の指導に力を入れる気運は高まっている。

委員 　ベテランの先生の中に講師の先生が行き詰まったときに生活も含めて相談できる人がいれば安心だ。

委員 　例えば学年に5クラスあって、担任の先生の半分が講師の先生だと保護者が不安を持つ可能性がある。実際、私が学校のPTA会長をしていた際に保護者から相談を受けたことがある。講師の先生だと一年ごとに担当が変わってし

まう。先生と講師の先生では大きな差はないと思うが保護者が不安を持つことも気に留めておいてほしい。

教職員室長 昨年度、秋田市では若い講師の先生が3件ほど事件を起こした。校長会と秋田市教育員会とで若い先生をどう育てて、悩みをどう解決していくかという協議会を開いた。学校では徐々に若い先生が増えてきているので学校の中でどう育てていくかが課題である。

教育長 20代の先生が学校に入ると年の一番近い先生が10歳ほど年上である場合もある。今後20代の先生が増えていくだろうが、いろいろな相談ができる環境を作ることが大切である。学校も環境作りに苦勞していると思うが、若い先生に配慮してほしい。講師がある学年に集中する場合についてはどうか。

教職員室長 秋田市には現在150名ほどの講師がおり、大きい学校では5人から6人の講師の先生が在籍している。中学校では講師の先生では3年生の担任が大変だということで1、2年生の担任に集中することもある。また、講師の年齢は幅広く、40代のベテラン講師もおり力量のある人もいる。そういった方については、校長先生からの要望を受けて、県教育委員会に2年間継続して勤務できるようお願いしている。特殊なケースでは、3年というケースもある。

教育長 教科によっては秋田市に必要な教員が足りず、講師の先生を入れて秋田市の定数分とされている場合もあるため、大規模な中学校では講師の先生が多くなりがちだ。その点については、教職員室でもいろいろ考えて対応していると思う。

※ 協議事項(1)については、以上のとおり終了した。

## 【教育長等の報告】

- (1) 平成29年11月市議会定例会の審議状況



教育長 事務局から説明をお願いします。

総務課長 1 1 月市議会定例会の教育委員会関係の審議状況について報告する。

上北手小学校の給食を東小学校で調理することに伴う給食運搬に係る委託料のほか、施設の維持管理業務などについて、新年度当初からの業務を円滑に執行するため設定する債務負担行為に係る補正予算案について、1 2 月 1 5 日に行われた予算決算委員会教育産業分科会において審議され、その後、昨日行われた予算決算委員会において原案について可決すべきものと決定されている。

また、「東小学校、上北手小学校共同調理場」を設置するための学校給食共同調理場設置条例の一部改正や、北部公民館を廃止するための公民館設置条例の廃止など条例関係の 3 議案についても、1 2 月 1 5 日に行われた教育産業委員会において審議されており、3 議案とも原案について可決すべきものと決定されている。なお、今後の議会日程ですが、明日 2 2 日に本会議が開催され、補正予算案および条例関係の議案について、採決に付される予定となっている。

(2) 平成29年度「新成人のつどい」の警備について

教育長 事務局から説明をお願いします。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

教育長 妨害行為が発生し、妨害者を職員が退場させるケースでは、被害届提出について判断する協議は必ず行うということが良いか。

生涯学習室長 式典が中断された場合は、被害届の提出について協議したいと考えている。

教育長 ケースバイケースであるが、式典が中断されるなどの影響が出た場合、妨害行為についての被害届の提出について判断するというをおよその目安として考えるということ

とで良いか。また、式典終了後、アトラクションの時間はどのくらいあるのか。

生涯学習室長 被害届を提出する目安としてはそのとおりである。式典は20分、アトラクションは、ふれあいタイムを含んで約90分を予定している。

委員 市の配置職員や秋田中央警察署の協力体制はアトラクション終了まで行われるのか。

生涯学習室長 アトラクション終了までである。

教育長 式典は20分だが、アトラクションが終わるまで目に余る行為が無いように気をつけないといけない。

委員 式典の妨害行為が発生した際の被害届の提出基準は生涯学習室長が言った基準で良いと思う。この場合、威力業務妨害罪に該当するかどうかということになる。業務とは新成人のつどいの式典であり、その進行がどの程度妨げられるかということが具体的な妨害行為があった段階で個別に判断される。式典の円滑な進行がどの程度妨げられるのかという観点で被害届を出すかどうかを判断すると良いだろう。

#### 【その他、今後の日程についての報告】

教育研究所長 平成30年度全国学力・学習状況調査の参加等について、文部科学省では例年12月中旬に次年度の実施要領を公表し、市町村教育委員会に対し1月上旬までに来年度調査への参加の回答を求めている。まだ次年度の実施要領が公表されていないことから実施要領が公表された段階で本市の来年度調査への参加の回答期限が1月定例会後であれば、1月定例会で実施要領を説明し、参加の有無について協議事項として図らせてもらいたいと考えている。回答期限が1月定例会前であれば教育長の専決事項として1月の定例会では参加及び実施要領の変更点について説明させていただくので了承いただきたい。

- 教育長 本来であれば本会で平成30年度の参加について協議したかったが、実施要領等がまだ届いていないということだ。
- 教育研究所長 実施要領等の公開が例年より遅れている状況である。
- 委員 ニュースで秋田商業のグラウンドのピッチが綺麗に完成しサッカー部の子どもたちが一生懸命練習している姿が放送されていた。秋田商業高校サッカー部は3年連続49回目の全国大会出場である。秋田商業高校のサッカー部の皆さんにエールを送りたい。
- 総務課長補佐 教育委員会定例会は原則、毎月第4木曜日としており、1月定例会は1月25日（木）を予定している。
- 教育長 1月定例会は1月25日（木）午後3時30分からとする。委員の皆様、日程調整をお願いする。

午後4時30分閉会

以 上